



## 肥料汚染：香港への東江水に含まれるリンの量 10 年で最高

自由亞洲電台 www.rfa.org 2015-12-09 来源：

香港の水諮会（宮本注：水資源・供水水質事務諮詢委員會の略）及び水務署のメンバーが、水曜（9日）に広東省東江水の施設（香港への水供給取水口の施設）への視察を終え、水諮会の陳漢輝酒席は、昨年10月から今年の9月31日（明らかに「9月30日」の誤記）の間に、香港木湖抽水ステーションで東江水の抜き取り検査の結果、今年5月及び7月に、水に含まれていた大腸菌は、1～2日の二日間で安全基準の6倍となっていたことが判明した；彼は、深圳の沙湾河が肥料汚染を受けているため、暴雨の際に上流住民の安全のために必ず放水されることとなることから、汚水が深圳ダムに流入し、その後香港に流れてくる、内地当局が2018年に放水をした場合には、まず污水处理をしてから香港側に流出させるので、汚染程度は低くなるものと予測している。

東江水に含まれる鉛の量は一リットルあたり0.01ミリグラムであり、WHOの食品水の品質に関する安全基準を満たしているが、リンの総含有量は過去10年で最高に達し、一リットルあたり0.057ミリグラムとなっており、10年前より9.6%上昇している。また、硝酸塩も10年前と比して54%上昇しているが、内地の基準は超えてはいないという。

水諮会の委員である張潤興氏は、リン及び硝酸塩は肥料や動物の糞便に常見されるものだが、水務署がこれらの物質をろ過しているものと信じており、市民の健康には影響をしないと思うと語った。

以前、環境保護団体（と『自称している』の誤りです!!）『グリーンピース』が検出した、香港の5つの貯水池でがんを誘発する物質『過フッ素化合物（PFCs）』が検出されていたが、そのうち東江水にある3つのダムでの含有量が比較的高濃度を示していた。

陳漢輝氏は、この状況については既に内地に報告しているが、内地はこれまでに何らのPFCsのモニタリング政策も打ち出しておらず、東江水にPFCsが含まれていることを知った後、これに留意して、もし、工場で生産過程にPFCsが使用されていた場合には批准しないようにすると言われたと語った（本当にそのように批准を取り消すとの言質を取れていないことが香港住民に取ってはリスクとなっています）。

<http://www.rfa.org/cantonese/news/hk-water-12092015090702.html?encoding=simplified>

..... 以下は中国語原文 .....

## 肥料汚染供港東江水 含磷量 10 年最高

自由亞洲電台 www.rfa.org 2015-12-09 来源：

香港水諮会及水務署人員，周三（9日）完成考察廣東省東江水設施，水諮會主席陳漢輝指出，由去年10月至今年9月31日，在香港木湖抽水站抽驗東江水的結果，發現今年5月及7月水質的大腸桿菌含量，曾有一、兩日超出安全標準6倍；他解釋，因深圳沙灣河受肥料污染，暴雨時為保障上流居民的安全必須泄洪，令污水流入深圳水庫後再流到香港，預期內地當局2018年會截洪，將污水先送到污水廠處理才排到香港，以減污染程度。

而東江水含鉛量每公升少於0.01毫克，符合世衛食水安全標準，但總磷含量創10年來最高，每公升含0.057毫克，比10年前升9.6%，而硝酸鹽亦比10年前升54%，惟沒超出內地標準。

水諮會委員張潤興表示，磷及硝酸鹽常見於肥料及動物糞便，相信水務署有能力過濾物質，不會响市民健康。

對於早前環保團體“綠色和平”驗出，香港5水塘均含有可致癌物質全氟化合物（PFCs），其中儲存東江水的3個水塘含量較高。

陳漢輝表示，已將情況轉告內地，但內地過去沒有任何政策監控PFCs，在得知東江水含有PFCs後，已承諾留意事件，包括若工廠在生產過程會使用PFCs，將不會獲得批准。